

若洲公園整備コンセプトについて

1 経緯

平成 2年12月	都立若洲海浜公園として開園
平成18年 4月	公園の一部が本区に移管。江東区立若洲公園として開園
令和 4年10月	令和4年第3回区議会定例会にて若洲風力発電施設との一体的検討を報告

2 一体的検討における課題と対応

- (1) 風車の代替となる環境意識醸成のシンボル施設の検討

 - 複数の再生可能エネルギー設備の導入等により、「点」のシンボル（風車）から、公園全体を使った「面」のシンボルへ転換。
- (2) ゼロカーボンシティ宣言を受け、再生可能エネルギー設備等の導入検討

 - 公園と環境の相性は高い。
 - 若洲公園においては太陽光発電、風力発電にポテンシャル有。
(環境省 再生可能エネルギーポテンシャルマップ)
- (3) 公園改修と環境への取組みを一体的に実施することに対する市場意見の把握

 - 追加サウンディング型市場調査を実施。
(主な意見)・自社の提案内容と合致。是非整備方針に盛り込んでほしい。
・自社で脱炭素に取り組んでおりノウハウを応用し貢献したい。
・環境配慮型公園を目指すことは国内外に広くアピールできる。

3 整備手法について

平成29年の都市公園法改正により新たに制度化された公募設置管理制度（Park-PFI）は、民間活力を活用した便益施設の導入や国費の活用など、公園利用者の利便性向上、公園管理者の財政負担の軽減に繋がる。

4 整備コンセプト

環境のシンボルを「点」から「面」へと転換し、「環境配慮型公園」※を Park-PFI 手法により整備する。

※環境配慮型公園
複数の再生可能エネルギー設備を導入すること等により、公園からの温室効果ガス排出量実質ゼロを目指した公園

5 今後のスケジュール

令和4年12月～ 区民意見募集
令和5年 3月 若洲公園整備方針策定